

〔4段階評価〕						
4…期待以上    3…ほぼ期待どおり    2…やや期待を下回る    1…改善を要する						
評価項目	努力事項(評価の観点)	具体的実践事項(評価の規準)と ゴールイメージ	学校の状況	自己 評定	学校 関係者 評定	結果の考察・分析及び改善策等 (◎達成状況がよい、●課題、☆改善策、※委員のコメント)
徳 育	<b>【重点推進事項(評価の視点)】 きまりを守り、礼儀正しく思いやりのある児童の育成</b>					
	時間やきまりを守る指導と 挨拶や礼儀指導の徹底	① チャイムの合図や校時程を意識した行動の 重点的指導 ② 活動場所を意識した行動の重点的指導 ③ 会釈や気持ちのよい挨拶の習慣化を図る指 導の充実 ゴールイメージ 時間やきまりを守り、挨拶がしっかりできる児童 が80%占める。	新校時程に移行したが時間を意識して行 動できている。 チャイム黙想ができている。 月の生活目標の達成率81% ★時間やきまり、あいさつについて意識 して指導した教師93% ★時間やきまりを守りあいさつができ ていると答える児童94% ★子どもが時間やきまりを守りあいさつ ができていると答える保護者88%	3.2	3.2	◎時間を守ることやあいさつ、チャイム黙想については児童の 意識が高まっている。 ●会釈ができる子とできない子で差がある。 ※時間やきまりは大切なこと。児童94%、保護者88%は守 られているのはすごい。
	いじめ・不登校の未然防止 や早期発見	① 早期発見に向けた調査活動の充実 ② 教育相談の充実と情報の共有化 ③ 組織的な生徒指導体制の充実 ゴールイメージ 心配なケースへの早期発見・組織的な対応によ り、安心して学校に通える児童が90%以上を占め る。	毎月、心のアンケートを実施し、教育相 談に生かしている。 関係機関と連携し、ケース会議を早め に行っている。 ★安全指導やいじめの早期発見に努めた 教師100% ★安心した気持ちで学校に通っていると 答える児童89% ★子どもが安心した気持ちで学校に通え ていると答える保護者91%	3.5	3.3	◎アンケート結果では早期対応ができている。 ☆児童の困り感を今後も支援していきたい。 ※学校は楽しく学び、遊び、子どもが安心して過ごせる場所。 早期対応は、これからも支援して頂きたいです。
	家庭と連携した基本的生活 習慣の確立	① 「新 北浦っ子のちかい」の見直し ② 「早寝・早起き・朝ごはん」「むし歯0」 運動の推進 ③ メディアコントロールの実施 ゴールイメージ 「新 北浦っ子のちかい」の改訂版を作成する。 「早寝・早起き・朝ごはん」「むし歯0」運動によ り、早寝・早起き・朝ごはんの定着が80%を占 め、虫歯治療率が前年度よりもアップする。	「北浦っ子のちかい」について代表委員 会で見直しをした。 虫歯治療の啓発活動を行い、歯科受診率 が66%(前年度より10%アップ)に なった。 保護者と上学年向けに、メディアコント ロールや睡眠に関する講演会を実施し、 意識付けを図った。 ★早寝ができている児童71% ★早起きができている児童86% ★朝ごはんをきちんと食べている児童79%	2.8	3.0	◎元気っ子週間の取組により長期休業明けの生活リズムの乱れ を整えることはできている。 ☆早寝については学年に応じた指導や声かけ、ほけんだよりを 通して保護者への啓発を行っていく。 ●メディアの使い方については家庭との連携が必要である。 ※朝ごはんは1日の活力の元。大人も子どもも変わりはないこ とです。早めに起きてきちんと食べる啓発は大事ですね。
	主体的・協働的な教育活動 の充実	① 児童が主体となる学校行事等の活動推進 ② 児童・生徒合同の教育活動の実施 ③ 支持的風土と温かい人間関係の醸成 ゴールイメージ 児童主体による全校集会の開催、小・中学校合同 行事の実践等により、主体的に関わる児童が80% を占める。	委員会企画し、児童主体の全校集会を行う ことができた。 小中合同鑑賞教室ではバレエの鑑賞教室を実 施し、5・6年児童も出演した。 ★委員会活動を児童主体で行うように意識し た教師100% ★主体的に関わっていると回答した児童 79%	3.2	2.9	◎小中合同鑑賞教室ではバレエの鑑賞教室を実施できた。 ●小中合同避難訓練は実施できなかった。 ※今後ともできる限り協働的な活動に取り組みながら児童の主 体性をさらに高めていってほしい。
豊かな心を育む指導の充実	① 道徳科における指導の工夫・改善 ② 人権同和・特別支援教育の充実 ゴールイメージ 思いやりを発揮できていると自己評価する児童が 80%を占める。	参観日による道徳・人権教育等の授業公 開を行い、他人との関わり方についての 学習を見てもらう。 ★人権や思いやりについて指導した教師 100% ★思いやりを発揮できていると答える児 童89%	3.2	3.0	◎全学級で参観日に道徳・人権教育の授業公開を行うことがで き、他人との関わり方について親子で考える機会となった。	

〔4段階評価〕						
4…期待以上 3…ほぼ期待どおり 2…やや期待を下回る 1…改善を要する						
評価項目	努力事項(評価の観点)	具体的実践事項(評価の規準)と ゴールイメージ	学校の状況	自己 評定	学校 関係者 評定	結果の考察・分析及び改善策等 (◎達成状況がよい、●課題、☆改善策、※委員のコメント)
<b>【重点目標(評価の視点)】 基礎的・基本的な内容の習得と自分の考えを表現する力の育成、学習・読書習慣の定着</b>						
知 育	基礎的・基本的な内容の習得に向けた取組の充実	① 学力検査結果を活用した授業改善と基礎的・基本的な内容の徹底 ② わかる・できる喜びを感じる授業の実践 ③ 学級経営の充実 ゴールイメージ 全国・県の学力調査において、前年度より正答率が伸びる。すべての学級で単元テストの平均点が全国平均を上回る。わかる・できると実感する児童が80%を占める。	全国・県学力調査結果の分析を行い、系統的な指導内容や方法について確認し、授業改善につなげた。 日々の授業の中でわかる・できる喜びを感じる授業実践を意識し取り組んでいる。 ★単元テストが全国平均を上回る学級83%	3.0	3.3	◎日々の授業を分かりやすくするために、意識をもって取り組んだ。 ●文章から読み取ったことを使って問題を解く力に課題が見られる。 ☆朝読書の継続、ブックトークを取り入れる。 ※全国平均を上回る学級83%は良いと思います。
	自分の考えを表現する場の確保と育成	① 1単位時間における自分の考えを表現する場の確保と指導 ② 新聞等への積極的な投稿 ゴールイメージ 授業の中で積極的に自分の考えを書いたり伝えたりする児童が80%占める。新聞等への投稿へ作品を出品する児童が前年度よりも増える。	勉強の中で自分の考えを書く・話す場面が増えた。新聞掲載された作品の掲示や放送での紹介をした。 ★新聞等への積極的な投稿をした教師(R4)50%、(R5)68% ★発表するための手立てを工夫した教師92% ★積極的に自分の考えを書いていると答える児童71%	2.9	2.8	◎児童の作文を校内放送で紹介したことで投稿者が増え、書くことへの意欲付けになった。 ●自分の考えを書くことに苦手意識がある児童がいる。 ☆文集「ともだち」を各学級に配付し、書き方の参考とさせる。 ※課題の改善に向けてさらに取り組んでもらいたい。 ※自分の言葉を人の前で発表することはすごい勇気があることですが、一度経験すると自信にもつながりますね。
	主体的・対話的で深い学びの実現に向け、個別最適な学びと協働的な学びの実現	① 個別最適な学びと協働的な学びについての理解 ② Qubenaとロイノートの効果的な活用 ③ 協働的な学びに着目した主題研究の実施 ④ 協働的な学びに着目した授業研究会(分科会)の実施 ゴールイメージ 1日1回はタブレット端末を活用した授業の実践、協働的な学びに着目した授業研究会(6回)の実施 自分の考えを積極的に表現(書く・伝える)していると思っている児童が80%を占める。	3年生以上は1日1回はタブレット端末を活用している。 協働的な学びに着目した授業研究会で全員が研究授業を行い、よりよい授業づくりに努めた。 ★児童理解と個々の進捗に努めたと答える教師100% ★協働的な学びに向けて授業改善できたと答える教師67% ★タブレットを活用している児童89% ★話し合いを頑張っている児童81% ★子どもが授業の中で自分の考えを積極的に書いたり伝えたりできていると答える保護者77% ★学校は授業の中でタブレットを積極的に活用していると答える保護者78%	3.1	2.9	◎タブレットを活用する機会が増えた。 ●協働的な学び(協力して課題解決を目指す学び方)について、職員達の間で取組に幅がある。 ☆協働的な学びについては、話し合いに関する掲示物を作成していることで、日常的に活用することで、どの学級でも同じように取り組むようにする。 ※基礎ができていない子どもへのタブレット等の効果的な活用を期待します。 ※時代に合った授業(タブレット)は子ども達の成長には大切です。
	家庭と連携した学習習慣の定着	① 学習習慣形成の系統的・重点的指導 ② 担任間の共通理解と学級経営の充実 ③ 家庭学習の定着・充実 ゴールイメージ 各学年で求めている家庭学習について、学級の80%の児童が身に付けている。	学習部で家庭学習の内容や量の確認を行い、家庭学習で児童に求めることの整理をした。 ★家での勉強をがんばっている児童76% ★子どもが家での勉強をがんばっていると答える保護者68%	2.8	2.8	●家庭学習への意欲付けが難しい。学校全体で量や内容などのバランスについて話し合う必要がある。 ☆学級懇談で家庭学習の目的や家庭での関わり方等について話し合う。 ※難しい部分だと思われるが、少しずつでも向上してもらいたい。
	読書活動の充実と読書環境の整備	① ボランティア等による読み聞かせ活動の充実 ② 「家読」運動の推進 ③ 校内の図書コーナーの改善 ゴールイメージ 児童の読書量(平均冊数)が前年度よりも伸びている。	分館の方やPTA、図書委員会児童による読み聞かせを実施した。 図書コーナーの整備・拡張を行った。 読書イベントを企画し、読書に対する意欲付けを図った。 ★貸出冊数(R4:2966冊 R5:2128冊)※同時期の比較 ★読書指導に努めた教師78% ★学校は読書活動の充実と図書コーナーの改善に取り組んでいると答えた保護者89% ★子どもが読書量が増えたと答える保護者30%	2.9	2.9	◎読み聞かせや分館の本を借りることを通して、分館との連携を強めることができた。 ●低学年は貸出冊数が増えたが、高学年は減る結果となってしまった。 ☆分館に本をもってきてもらうなど、新たな取り組みを工夫する。 ※引き続き読書活動の推進に努めてもらいたい。

〔4段階評価〕						
4…期待以上    3…ほぼ期待どおり    2…やや期待を下回る    1…改善を要する						
評価項目	努力事項(評価の観点)	具体的実践事項(評価の規準)と ゴールイメージ	学校の状況	自己 評価	学校 関係者 評価	結果の考察・分析及び改善策等 (◎達成状況がよい、●課題、☆改善策、※委員のコメント)
	<b>【重点目標(評価の視点)】</b>	<b>ふるさと北浦を大切にする教育の充実と地域に貢献する人づくり</b>				
	地域素材・人材の活用・推進	① 授業等における地域素材・地域人材の積極的活用 ② キャリア教育の充実  ゴールイメージ 学年の学習内容に応じた地域素材・人材の活用した授業実践	キャリア・パスポートへの記録と活用を図っている。 地域婦人部の方々に協力いただき、1年生の収穫祭や5年生の家庭科の授業でのサポートをしていただいた。 全学年、学年に応じて地域の様々な施設の見学を行った。 遠足や生活科で地域の自然にふれる活動を行った	3.5	3.6	◎年間指導計画を見直し、地域の素材や人材についてつながりをもつことができた。 ※学校支援に行くといつも思います。この素直な気持ちを忘れずに大きくなって欲しいです。
地域連携	地域と連携した体験活動や交流活動の充実	① 北浦わくわくタイム(総合的な学習の時間)の充実 ② 地域との連携を大切にした総合的な学習の時間の充実 ③ 保・小・中連携の推進と交流活動の充実  ゴールイメージ 北浦のよさを知り、北浦を好きと思う児童が90%を占める。	海洋学習の充実を図り、シュノーケリング体験、クルージング、地引き網などの体験活動を行った。 茶摘みでできたお茶を使った元気塾との交流会を実施した。 ★ふるさと学習の推進に努めた教師100% ★北浦でいろいろなことを体験したり学んだりできた児童94% ★北浦のよさを知り北浦を好きと答える児童96% ★子どもが北浦のよさを知り北浦を好きな気持ちが高まっていると答える保護者78%	3.5	3.6	◎今年度も多くの地域の方の支えがあり、充実した学習活動を展開することができた。 ●北浦のよさを伝えるための学習活動について、保護者の理解も深めていきたい。 ※体験学習で子ども達のこれからも変わることがあると思いますので、様々な体験をさせていただきたいです。
	奉仕的活動の充実	① クリーン作戦等の委員会活動の充実 ② 無言清掃の徹底 ③ 環境教育の充実  ゴールイメージ 地域に貢献できたと実感する児童が80%を占める。	環境美化委員会主体で地域を対象としたクリーン作戦を年3回実施した。 無言清掃がよくできている。 河川や海の水質調査を行い、環境を守ろうとする態度を育てている。 ★地域に貢献できたと実感する児童95%	3.5	3.6	◎委員会の児童主体でのクリーン作戦を展開し、環境美化に対する児童の意識を高めることができた。

		〔4段階評価〕				
		4…期待以上	3…ほぼ期待どおり	2…やや期待を下回る	1…改善を要する	
評価項目	努力事項(評価の観点)	具体的実践事項(評価の規準)と ゴールイメージ	学校の状況	自己 評定	学校 関係者 評定	結果の考察・分析及び改善策等 (◎達成状況がよい、●課題、☆改善策、※委員のコメント)
体 育	【重点目標(評価の視点)】 健康安全・防災教育の推進と教育環境の整備・充実					
	緊急時安全対策の徹底と危機回避能力の育成	① 安全点検の充実と安全確保の徹底 ② 小・中・地域と連携した避難訓練の実施 ③ 安全対策マニュアルの見直し・修正  ゴールイメージ 避難訓練時に「お・は・し・も」を意識して避難する児童が95%を占める。	毎月、安全点検を実施し安全を確保している。 防災を考える日として、北浦町避難訓練に合わせ避難訓練を実施し、防災に関わる活動をした。 津波・地震・火災・風水害・不審者に係る避難訓練を実施している。 ★安全教育、防災教育に務めた教師100% ★「おはしも」を意識して避難できた児童99%	3.7	3.6	◎天気予報により大雨が予測されるときには、事前にマチコミで保護者に連絡し、安全に児童の引き渡しを行うことができた。 ◎避難訓練や防災の日の取組により、児童の防災に対する意識も高まっている。 ※TV等で他県の地震や津波の映像を見ることにより意識も高まっているのでは。 ※明日は我が身の意識で訓練の取り組み、保護者との連携を強めていただきたいです。
	自立弁当の日の取組の充実と食育の推進	① 「自立弁当の日」の充実 ② 家庭やPTA活動と連携した食育の推進 ③ 家庭科や学級活動等の関連指導の充実  ゴールイメージ 自分の食生活に関心をもつ児童が80%を占める。	年2回自立弁当の日を設定して、お弁当づくりに関わるようにしている。 学校保健委員会で、保護者向けに食育に関する講演会を実施した。 2学期に給食試食会を実施した。 栄養教諭による食育指導を行っている。 ★給食の好き嫌いをしないようにがんばっている児童89% ★学校は自立弁当の日の設定や食に関する指導の充実に取り組んでいると答える保護者100%	3.2	3.4	◎職員の日々の声かけ指導や児童による啓発が効果的だった。 ◎栄養教諭による事前指導が効果的だった。 ●給食試食会を次年度実施するときは、保育園にも声をかけてはどうか検討する。
	運動の日常化・継続化による体力向上	① 「サーキットトレーニング」の推進 ② 外遊びの奨励 ③ 体力向上プランの活用・推進  ゴールイメージ 運動に積極的に関わろうとする児童が70%を占める。	体育の授業においてサーキットトレーニングを実施している。 昼休みは外遊びを奨励し、多くの児童が元気よく遊んでいる。 体力向上プランを見直し、柔軟性を高める運動に取り組んでいる。 ★外遊びの奨励に務めた教師90% ★体力テストでの課題解決に取り組んだ教師56% ★運動をがんばっている児童84%	3.2	3.2	◎どの学年も外遊びを積極的に行い、体を動かす習慣が身に付いている。 ◎委員会児童によるなわとび週間の取組が効果的だった。 ※持久走大会では、みんな完走してすばらしかった。
	栽培活動の推進と落ち着いた環境づくり	① 児童の主体的な栽培活動の推進 ② 一人一鉢花いっぱい栽培活動の充実 ③ 学びの場にふさわしい教室環境設営  ゴールイメージ 学習にふさわしい教室環境づくりと、花いっぱい栽培活動に積極的に関わろうとする児童が80%を占める。	一人一鉢花いっぱい栽培活動に取り組み、卒業式で飾る予定である。 ★教育環境づくりに努めている教師88% ★掃除や栽培活動をがんばっている児童71% ★学校は清掃活動や栽培活動の充実に取り組んでいると答える保護者89%	3.3	3.1	◎技術員の渡部先生のおかげで、花壇やプランターには年間を通じて美しい花を見ることができている。一人一鉢の栽培活動には児童も責任をもって取り組んでいる。 ●栽培活動に対して、児童により取組の温度差がある。 ※花作りを通して思いやりや環境美化の心を育んでいってほしい。 ※種から育て素晴らしい花が咲く学校。子どもの心もやさしくなりそうです。

〔4段階評価〕						
4…期待以上    3…ほぼ期待どおり    2…やや期待を下回る    1…改善を要する						
評価項目	努力事項(評価の観点)	具体的実践事項(評価の規準)と ゴールイメージ	学校の状況	自己 評定	学校 関係者 評定	結果の考察・分析及び改善策等 (◎達成状況がよい、●課題、☆改善策、※委員のコメント)
保護者との連携	【重点目標(評価の視点)】	学校運営の活性化と、保護者・地域の信頼と期待に応える学校づくり				
	P T A活動の充実・活性化	① 活動分担制による主体的なP T A活動の運営・推進 ② 各専門部・家庭教育学級の活動の活性化 ③ 「むぎゅっの日」の継続的な実践  ゴールイメージ P T Aスローガン「とことん つながろう！楽しもう！すべては子どもたちの笑顔のために！」に向け、保護者同士のつながりを深めている。	P T Aミニバレーボール大会・懇親会を実施し、保護者同士のつながりを深めている。 地区懇談会では、各地区の課題を共有できた。 奉仕作業には多くの保護者と児童が参加し環境整備を行うことができた。 バザーは地域の方にも呼びかけ、大変盛況であった。 家庭教育学級を実施し、教養を高めることができた。 延岡市のP T A新聞コンクールで最優秀賞を受賞した。 ★P T A活動に積極的に参加している保護者78% ★保護者同士のつながりを実感する保護者70%	3.7	2.8	◎ミニバレー大会は参観日に実施が良かった。 ●地区懇談会への参加率が低い地区がある。 ※今後とも各地区の課題解決に向けて取り組んでもらいたい。
	創立150周年記念事業に向けた取組推進	① 準備委員会の編成 ② P T A役員との協議  ゴールイメージ 創立150周年記念事業に係る実施日、実施内容、作成物等に関することについて方向性が決まる。	準備委員会を編成し、組織作りや実施内容の検討を行っており、実施日や作成物等の方向性が決まってきた。 協議事項について今後P T A会員への報告を行っていく。	3.4	3.2	◎今年度は準備委員会を編成し、一定の方向性を決めることができた。 ☆内容については随時P T A会員や地域への周知を行っていく予定である。
学校運営協議会の充実(小中連携の推進)	① 地域の各種会合、行事への積極的な参加 ② 地域ボランティアへの積極的な参加 ③ 小中連携した学校運営協議会の実施  ゴールイメージ 熟議テーマ「北浦の魅力再発見」を意識した学校運営協議会を開催し、小・中学校や地域の課題を解決するための取組を協議する。	4年生以上は子どもの声を聞く会に参加し、堂々とした意見発表を行うことができた。 学校運営協議会を年4回実施し、学校・地域の課題について、積極的に意見交換をすることができた。 学校運営協議会の予算を活用し、校区内の防災マップづくりに取り組んでいる。	3.2	3.2	◎学校運営協議会の委員の方にも参観日や持久走大会の案内をして、学校の様子を見ていただくことができた。 ※中学校との合同避難訓練や地域行事への参加など、今後とも学校と地域の一体的な活動に向けて探求していってほしい。	